

# 2024年 第8回 箸技大会ルールブック

審判長：大泉 計時審判員：横瀬・野田

## ■箸ピー1分ゲーム

### 1. 用具

器(箱)、箸、ピースは国際箸学会公認のものとする。

### 2. 競技単位

競技者4名に対し監察審判員1名を配置する。

チャンピオン決定戦においては競技者1名に対し監察審判員1名を配置する。

### 3. 競技

監察審判員は競技者から向かって右に、赤の器を置き、器の前に箸を置く。

ピースは監察審判員が50個を数え、赤の器にピースが山を作らず、整列しないように入れる。(今大会は予選は50個数えない)

監察審判員は次を確認し、旗を上げ、計時審判員へ準備完了を伝える。

- ・競技者が指定の位置に準備していること。(椅子に座っていること)
- ・器の位置、ピースが正しいこと。
- ・競技者および審判員以外の者が競技エリアに入っていないこと。

### 4. 競技開始

すべての監察審判員が旗を上げたら、審判長はそれを確認し、呼子で競技準備完了とし計時審判員がタイマーを操作し、競技を開始する。

競技者は赤い器から黒い器へピースを移動させる。

### 5. 競技終了

タイマーの終了の合図で競技を終了する。

競技者は箸を置き、手を膝の上に置く。ルール違反があった場合は監察審判員が旗を左右に振り、違反をアピールし、審判長と相談し違反かどうかを決める。

競技者は数を数え、記録表に記入。監察審判員は記入された記録を確認する。

違反があった場合は失格・救済を決め、その経緯を審判長が説明する。

### 6. 【左手での競技】

3～5を繰り返す。審判員は記録表にサインする。

※左手の場合は競技者から向かって、左に赤の器を置く。

### 7. 係が記録表を回収する

#### 箸ピー1分ゲーム 競技ルール違反・注意事項

- ・ピースは必ず1個ずつ移動する。2個取ってしまったら1個に掴み直す。
- ・ピースはすくってはいけない。
- ・落ちたピースは箸で拾って移動前の器に戻す(床に落ちた場合も箸で拾う)。
- ・手でピースを動かしてはいけない
- ・器に手を添えたり、器の位置を直してもよい。しかし器を手で持って浮かせてはいけない。
- ・競技終了の合図の後に移動させたピースは元の器に戻す。

## ■箸リン1分ゲーム

### 1.用具

器(黒い箱)、ゲーム台紙、箸、リングは国際箸学会公認のものとする。

### 2.競技単位

競技者4名に対し監察審判員1名を配置する。チャンピオン決定戦においては競技者1名に対し監察審判員1名を配置する。

### 3.競技

監察審判員は器にゲーム台紙とリングをセットし、器の前に箸を置く。

監察審判員は次を確認し、旗を上げ、計時審判員へ準備完了を伝える。

- ・競技者が指定の位置に準備していること。
- ・器の位置、リングの位置が正しいこと。(スタートの位置にあることを確認)
- ・競技者および審判員以外の者が競技エリアに入っていないこと。

### 4.競技開始

すべての監察審判員が旗を上げたら、審判長はそれを確認し、呼子で競技準備完了とし計時審判員がタイマーを操作し、競技を開始する。

競技者は「はさむ」→「つまむ」→「ひらく」→「てんぷら」→「でんぐり」の順でリングを動かす。

### 5.競技終了

タイマーの終了の合図で競技を終了する。

競技者は、箸を置き、手を膝の上に置く。ルール違反があった場合は監察審判員が旗を左右に振り、違反をアピールし、審判長と相談し違反かどうかを決める。

競技者は数を数え、記録表に記入。監察審判員は数を確認する。

違反があった場合は失格・救済を決め、その経緯を審判長が説明する。

### 6.【左手での競技】

3～5を繰り返す。審判員は記録表にサインする。

### 7.係が記録表を回収する

### 8.チャンピオン決定戦

監察審判員は、周回を確認するメモをとってもよい。

#### 箸リン1分ゲーム 競技ルール違反・注意事項

- ・リングが器の外に出てしまった場合には箸で元の位置に戻す。
- ・リングが裏返って、違う色が色になってしまったら、箸で一度元に戻して正しい色にしてやり直す。
- ・技をとばしたり、順番を間違ってしまった場合、審判が指摘し、間違ったところからやり直す。

## ■箸ピース駅伝ゲーム

### 1.用具

器(箱)、箸、ピースは国際箸学会公認のものとする。

### 2.競技単位

1チーム(競技者5名を原則とする)に対し監察審判員1名を配置する。

### 3.競技

監察審判員は第1競技者の前に、競技者から向かって右に赤の器を置き、器の前に箸を置く。

ピースは監察審判員が50個を数え、赤の器にピースが山を作らず、整列していないことを確認する。

第2競技者から第5競技者の前には空の器を一つ置く。

監察審判員は次を確認し、旗を上げ、計時審判員へ準備完了を伝える。

- ・競技者が指定の位置に準備していること。
- ・器の位置、ピースが正しいこと。
- ・競技者および審判員以外の者が競技エリアに入っていないこと。

### 4.競技開始

すべての監察審判員が旗を上げたら、審判長はそれを確認し、呼子で競技準備完了とし計時審判員がタイマーを操作し、競技を開始する。開始と同時に監察審判員はストップウォッチを押す。(スタートの「ス」で押す)

### 5.競技終了

競技者は右から左へ全てのピースを移動し終わったら、ピースの入った器に箸を入れ、左にいる第2競技者へ渡す。(第2競技者から第5競技者まで同様に行う) 第5競技者(アンカー)は全てのピースを移動し終わったら、箸を机に置き、手を上げる。

監察審判員は、第5競技者が手を上げた時点でストップウォッチを止め記録表にタイムを記入する。

ルール違反があった場合は監察審判員が旗を左右に振り、違反をアピールし、審判長と相談し違反かどうかを決める。違反があった場合は失格・救済を決め、その経緯を審判長が説明する。

### 6.係が記録表を回収する

#### 箸ピース駅伝ゲーム 競技ルール違反・注意事項

- ・ピースは必ず1個ずつ移動する。2個取ってしまったら1個に掴み直す。
- ・ピースはすくってはいけない。
- ・落ちたピースはお箸で拾って移動前の器に戻す(床に落ちた場合も箸で拾う)。
- ・手でピースを動かしてはいけない。
- ・器に手を添えたり、器の位置を直してもよい。しかし器を手で持って浮かせてはいけない。
- ・箸ピース駅伝ゲームの終了(ストップウォッチを止める)のは第5競技者が手を上げた時。箸を机に置いただけでは終了にならないので注意する。

## ■積みピーゲーム

### 1.用具

ピース、箸、SSリングは国際箸学会公認のものとする。

### 2.競技単位

長机4台に対し監察審判員1名を配置する。

### 3.競技

SSリングとピースの入った器と箸を競技者の前に置く。

監察審判員は次を確認し、旗を上げ、計時審判員への準備完了を伝える。

- ・競技者が指定の位置に準備していること。
- ・競技者および審判員以外の者が競技エリアに入っていないこと。

### 4.競技開始

すべての監察審判員が旗を上げたら、審判長はそれを確認し、呼子で競技準備完了とし計時審判員がタイマーを操作し、競技を開始する。

競技者は3分の間に、箸でピースをSSリングの上に積む。認定してもらいたい数が積めたら手を上げ、監察審判員に確認してもらい、競技者は積めた数を記録表に記入。時間内であれば、何度チャレンジしてもよい。

### 5.競技終了

タイマーの終了の合図で競技を終了する。競技者は箸を置き、手を膝の上に置く。

#### 積みピーゲーム 競技ルール違反・注意事項

- ・ピースは箸で掴む
- ・ピースはどの向きに積んでもよい
- ・機の揺れが近くの競技者の競技に影響するので、周りの審判は静かに行動する。